

錦 監 第 102 号
令和 2 年 11 月 12 日

錦 江 町 長
錦 江 町 議 会 議 長
錦江町教育委員会教育長 殿

錦江町監査委員 牧原 剛
同 浪瀬 亮祐

令和 2 年度定例監査（学校監査）の結果について

地方自治法第 199 条第 4 項及び錦江町監査委員条例第 3 条の規定に基づく定例監査を実施したので、別紙のとおり結果を報告する。

なお、地方自治法第 199 条第 9 項の規定による監査結果の公表は、告示及び町ホームページへの掲載により行なう。

令和２年度 定例監査（学校監査）結果報告書

地方自治法第 199 条第 1 項及び第 4 項の規定により、錦江町監査基準に準拠して監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を提出する。

1 監査の種類

定例監査（学校監査）

2 監査の対象

各小中学校（小学校 6 校、中学校 2 校）

3 監査を執行した監査委員

監査委員 牧原 剛

監査委員 浪瀬 亮祐

4 監査期日及び監査対象校

令和 2 年 10 月 26 日（月）

- （１） 池田小学校
- （２） 宿利原小学校
- （３） 神川小学校
- （４） 大根占小学校

令和 2 年 10 月 27 日（火）

- （１） 大原小学校
- （２） 田代小学校
- （３） 田代中学校
- （４） 錦江中学校

5 監査の着眼点

各学校が所管する事務事業の執行状況をはじめ、以下の点を主眼として実施した。

- （１） 予算全体の執行は、計画的に行なわれているか。
- （２） 消耗品の購入は、適切に行われているか。
- （３） 備品の購入及び管理は、適切に行われているか。
- （４） 学校図書の運営状況は、適切に行われているか。
- （５） 校内・登下校時の安全は保たれているか。
- （６） いじめや不登校への対策はとられているか。

6 監査の実施内容

令和 2 年度 9 月末時点における予算執行状況、備品購入状況、財務事務の処理状況、校内の安全管理、その他一般的な事項について、それぞれの学校に出向き、前もって示した様式に基づく書類、その他関係帳簿の提出を求め、必要に応じて担当者の説明を聴取、現場を確認し、監査した。

7 監査結果

監査した結果は次のとおりであった。

- (1) 予算の執行状況について
適正に執行されており、特に指摘する事項はなかった。
- (2) 備品、消耗品関係について
適正に執行されており、特に指摘する事項はなかった。
- (3) 校内・登下校時における安全管理の状況について
適正に執行されており、特に指摘する事項はなかった。
- (4) その他の事項について
適正に執行されており、特に指摘する事項はなかった。

8 意見

(1) 予算の執行状況について

医薬材料費については、消毒液等が入手しづらい状況にあり、どの学校においても手配そのものに苦慮されていた。また他費目においても、臨時休業や行事の縮小開催などの影響が見受けられ、予期せぬ事態により予算執行の見通しが困難であろうことは想像に難くない。加えて9月補正で新型コロナウイルス対策費が予算化され、煩雑化は免れない状況であるが、どの学校においても既に予算執行の計画が立てられており、用意周到であることを確認した。

(2) 備品、消耗品関係について

備品管理については、備品ごとに確認のためのシールが貼付され、備品台帳も良く整理されていた。今後、新型コロナウイルス対策費による備品購入が計画されており、管理対象の備品が増えると思われるが、引き続き適正な管理に努められたい。

学校図書の蔵書冊数については、更新の過程により一時的に充足率が低くなっている学校があるが、児童・生徒一人当たりの冊数に換算すると、問題と思われるほどの数ではない。(参考資料2) 引き続き更新に尽力されたい。

(3) 校内・登下校時における安全管理の状況について

一部の学校において、やや危険と思われるロープの設置が見られたので、三角コーン等を配置して安全を確保されたい。

児童・生徒の通学について、遠距離を一人で歩くような状況はないとのことであり、保護者等との連携ができていることを確認した。今後も続けられたい。

学校敷地内や通学路においてサルが出没し、児童が追いかけられる事案が発生している。昨今、他県ではクマによる人身被害等が多発しているが、野生の動物から児童・生徒を守る対策が必要と考える。学校においては、花火を鳴らしたり、捕獲罠を設置したが効果が得られないとのことで、町主導のもと、至急改善に取り組まれたい。

(4) その他の事項について

切手、はがきの保管及び管理については、良く管理されていた。ただ、一部の学校で額面の小さい切手が多く保管されており、管理や使用する上で不都合であると思われるので、改善されたい。

スマートフォン等ネット機器の、児童・生徒の利用状況については、苦慮さ

れていることがうかがえた。引き続き、間違った使い方が招く危険や怖さについて、保護者を含めた形での啓発に取り組んでいただきたい。

9 まとめ

ICT 化や SDG s といった、時流に即した取り組みが顕著に見られた。かつてない時代を歩む子ども達が、それらを正しく認識することで、迷わぬための道標となるよう、深い理解のもと継続して取り組まれない。

新型コロナウイルス対策については、教育委員会を中心に、国の交付金を有効に活用しながら児童・生徒に配慮された対応がなされており、敬意を表する。ウィズコロナ、アフターコロナに備えて、教職員を含め児童・生徒が安全で楽しい学校生活を送れるよう取り組んでいただき、今後とも安全かつ円滑な学校運営に努めていただくよう望むものである。